「職場の人権」第 237 回例会 深刻な労働問題にどう取り組むか

2025 年 9 月 15 日

衆議院議員 尾辻かな子

1、現状の問題意識

エッセンシャルワーカーの低賃金、カイテック、タイミーなどのスポット派遣
下がる組合組織率、約 30 年横ばいの実質賃金・物価高の影響で 3 年連続実質賃金マ
イナス、内部留保と自社株買いで労働者に分配されていない（日経平均株価 2012 年
12 月 約 1 万円 2025 年 9 月 4 万 5 千円目前）

2、政策の方向性

最低賃金を上げる、130 万円の崖問題、中小企業の社会保険料減免、男女の賃金格差
の解消、第 3 号被保険者の廃止、望めば正社員に、エッセンシャルワーカーの処遇改
善と評価を上げる、派遣法の改正、介護現場は正社員化、ワークルール教育推進法、
転勤の制限、長時間労働の制限強化で男性の働き方を改善、週休 3 日制の試行、つな
がらない権利、ハラスメント禁止法の制定、1 億円の壁の解消、金融所得課税の強
化、租税特別措置の透明化、就職氷河期の課題、年金の底上げ

3、外国人労働者を巡って

自国第一主義、排外主義 プラットフォーム事業者の課題
30 年、50 年後の日本の未来をどう見るか
外国人労働者抜きでは成り立たない国
国、自治体で法整備、サポート体制を

公正な社会を作る